

# 治験センター NEWS

第5号 2008年4月1日 発行

桜の便りが聞こえる今日このごろ、皆様いかがお過ごしでしょうか。

みなさま、さらに「治験」が身近に感じられるようになりましたか？

第5号のテーマは、「治験薬から承認薬へ」です。

最近、当院で実施された治験で、現在一般に使用されている薬を極一部ですが紹介します。

以下に販売名、販売開始日、治験期間、受託科、実施症例数、対象疾患、治験名の順に表記します。

☆**ペグイントロン** 2004年12月

2001年～2003年 肝臓科 48例 C型慢性肝炎（治験名：SCH54031）

☆**バラクルード錠** 2006年9月

2003年～2005年 肝臓科 27例 B型慢性肝炎（治験名：BMS-200475）

☆**ズイフェンド** 2005年6月

2000年～2003年 呼吸器センター内科・血液科 12例 重症又は難治性真菌感染症  
（治験名：UK-109,496）

☆**コムタン錠** 2007年4月

2003年～2005年 神経内科 6例 パーキンソン病（治験名：COM998A）

☆**フラビックス錠** 2007年10月 効能追加

2004年～2006年 循環器センター内科 8例 不安定狭心症、非ST上昇心筋梗塞  
（治験名：SR25990C）

治験名を聞いて、あ～あったね！と懐かしさを感じた方がいらっしゃるのでは？また、販売名を聞いて、え？この病院でこの薬の治験やってたんだ！と思う方もいらっしゃるのでは？

治験を実施していると、数年後に一般に販売された時には医師が使用方法や副作用等を熟知しているというメリットがあります。

上記の薬は治験が終わってから、販売開始までの期間が短いほうです。（優先審査制度あり）もっと早く、その薬を必要としている患者さんに使っていただけるように国は動き始めています。私たちもできる限り、お役に立ちたいと思っています。

ご不明な点は、遠慮なくお問い合わせ下さい。  
今回は、2008年7月1日発行予定です

問い合わせ

本院治験事務局 3430

CRC室 3420

分院治験事務局・CRC室 5317

